

Let's TRY!

アビオスリー® 現地レポート

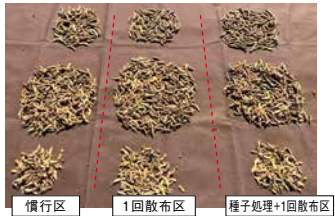
試験概要

2024年 シンジェンタ ジャパン(株) 社内試験

- 品種: ユキホマレ ●播種日: 5月13日 ●調査日: 9月18日
- 処理方法: ①慣行区
②アビオスリーを茎葉散布で計1回使用した処理区 ……6月30日 茎葉散布 (1,000倍 使用液量100L/10aで計1回)
③アビオスリーを種子処理と茎葉散布の計2回使用した処理区 ……種子処理 (150ml/種子30kg)*+茎葉散布 (②と同じ)
※クルーザーMAXXとの多重処理

試験結果

アビオスリーを処理することでだいたいと根粒菌の共生が促進され、根粒着生数が明瞭に増える傾向が確認されています。
②では子実重量・3粒莢の着莢数が共に増加し、③ではさらに高い効果が認められました。



莢重量・子実重量共に慣行区を上回った

莢重量と子実重量 (g)	①慣行区	②1回処理区	③種子処理+茎葉散布
1粒莢	54	84	78
2粒莢	330	345	351
3粒莢	107	116	136
莢総量	491	545	565
莢重量 慣行比	100.0%	111.0%	115.1%
子実総重	349	371	389
子実重 慣行比	100.0%	106.3%	111.5%

メーカーよりコメント

根粒着生数の増加が、だいた子実量の増加につながったと考えています。安定した効果を得るために、だいた栽培では、種子処理と防除1回目の茎葉散布 (どちらかが不可の場合は開花始期の茎葉散布) の計2回処理を推奨しています。

試験概要

2023年 シンジェンタ ジャパン(株) 社内試験

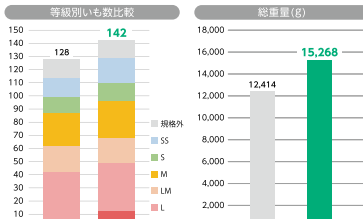
- 品種: オホーツクチップ ●植付日: 5月13日、14日
- 処理方法: 5月13日 インファロー散布 (200倍 使用液量20L/10a)、5月27日 ドローン散布

試験結果

200倍希釈したアビオスリーをインファロー散布し、その約半月後に8倍希釈ドローン散布した結果、アビオスリー処理区での総収量・総重量の増加が認められました。アビオスリー処理区では、萌芽期が早まったことでストロン形成及び塊茎肥大の促進、玉ぞろいが向上し歩留まりが向上する傾向が見られました。



アビオスリー処理区では玉ぞろい歩留まりが共に向上した



メーカーよりコメント

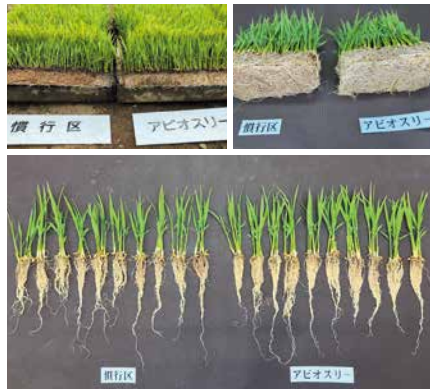
ばれいしょ栽培では、萌芽期または殺虫剤散布1回目の時期と着蕾期～開花始期の計2回の散布をおすすめしています (種いも瞬間浸漬処理またはインファロー散布を行う場合は、2回目の茎葉散布を省略可能)。

試験概要

2024年 シンジェンタ ジャパン(株) 社内試験

- 品種: ななつばし
- 播種日: 5月5日
- アビオスリーを150倍 (使用液量500ml/箱) で5月17日に灌注処理 (写真: 処理15日後)

試験結果



試験区にて苗の根張生育向上を確認

試験結果



アビオスリー処理区では、穂数・粗粒重・千粒重の4区平均が慣行区を上回った

試験概要

2024年 シンジェンタ ジャパン(株) 社内試験

- 試験地: 北海道夕張郡栗山町管内
- 品種: ゆめちから
- 播種日: 2023年9月25日
- 散布日:
アビオスリー区
……1回目 4月22日 茎葉散布 (1,000倍 100L/10a)
……2回目 5月15日 茎葉散布 (1,000倍 100L/10a、成長調整剤Aと混用)
慣行区
……5月15日 茎葉散布 (成長調整剤Aのみ)

●収穫物調査結果 各区50cm×4反復 調査日: 7月31日

	穂数		粗粒重		千粒重		整粒歩留	
	アビオスリー区	慣行区	アビオスリー区	慣行区	アビオスリー区	慣行区	アビオスリー区	慣行区
①	90	73	112.3	93.6	51.6	43.4	99%以上	99%以上
②	101	55	148.5	73.7	46.4	45.4	99%以上	99%以上
③	84	58	104.1	82.5	44.6	45.4	98.50%	98.50%
④	85	55	86.7	77.5	37.8	43	80.50%	80.50%
4区平均	90	60.3	112.9	81.8	45.1	44.3		

本商品についてのお問い合わせ先

株式会社サングリン太陽園 農薬肥料グループ TEL 011-892-6281

あなたの代わりに
トライアル!

展示圃優良事例紹介

「アビオスリー®」を、使ったら。

今回はバイオスティミュラント資材「アビオスリー®」のご紹介と試験結果をお伝えします。



今回の製品

環境の変化と共に乗り越えるバイオスティミュラント

アビオスリー®

シンジェンタ ジャパン株式会社

アビオスリー® (以下、アビオスリー) は、持続可能な作物栽培のための新提案としてシンジェンタ ジャパン株式会社から発売されたバイオスティミュラント資材です。植物原料由来の発酵成分と各種微量要素が作物の生長を助け、高温・湿害、除草剤ダメージなどの非生物的ストレスに強い作物づくりに貢献し、収量増加と品質向上をサポートします。従来の防除体系や肥培管理と組み合わせることで、作物のトータルケアが実現できます。

土壌環境の改善・ 発根促進に寄与

アビオスリーは「土壌」と「光合成」に間接的にアプローチします。含有する植物原料由来の発酵成分が発根を促進し、根圏微生物の活性化に貢献。この活性化が土壌の団粒構造の発達に寄与すると考えられています。2016年のミズーリ大学植物科学部の試験では、アビオスリー処理区で作物生育促進根圏微生物に分類される蛍光性シュードモナス属細菌や、発根に関係するIAA生産細菌など有用微生物群の増加が確認されました。これらの有用な土壌微生物の活性化

は、団粒化を含めた土壌環境の改善や作物の健全な根張りをもたらすと期待されます。

**作物の健全な生育を
下支える微量要素**

アビオスリーに含まれる銅と亜鉛は、光合成やタンパク質合成に関与する重要な元素です。これらは発根促進、根圏微生物の増加・土壌環境の改善を下支えします。その結果、作物の健全な生育が促進されて養分利用効率が向上し、高温・湿害・除草剤ダメージなどの非生物的ストレスへの耐性向上と早期回復が期待できます。

多様な使用方法

アビオスリーは液状タイプで扱いやすく、茎葉散布だけでなく種子処理・灌注処理・植溝内土壌散布 (インファロー)・浸漬処理など、多彩な省力処理にも対応可能です。また、従来の防除体系を変えずにさまざまな農薬と混用できます。



根張りが改善され根粒菌も増加